

「コンクリートの耐久性向上に関する日独セミナー」のご案内

材料研究室



コンクリートの耐久性向上により構造物の長寿命化を実現させ、ライフサイクルコストを低減させることは、現在のコンクリート技術において最重要課題の一つであります。

この度、北海道開発土木研究所は、流動研究員として、ドイツ・バウハウス大学F.A.フィンガー建設材料科学研究所所長のスターク教授およびモーザー博士を招へいし、下記のとおりセミナーを開催することとなりました。バウハウス大学では、物理化学分析や環境顕微鏡による生成物の観察により、コンクリートの耐久性評価を行う研究がなされておりますが、ここ数年は、北海道開発土木研究所、北海道大学、日鐵セメント、日本データサービスと、活発に研究交流が行われています。

セミナーでは、コンクリートの耐久性向上に関する5題の講演を予定しております。多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

記

1. 主催：(独)北海道開発土木研究所
 2. 後援：(社)土木学会北海道支部、北海道土木技術会コンクリート研究委員会
(社)日本コンクリート工学協会北海道支部
 3. 開催日時：平成15年7月30日(水) 13:00~17:00
 4. 会場：北海道開発土木研究所 1階講堂
 5. 参加費：無料
 6. 定員：100名
 7. 申込方法：参加を希望される方は、①参加者氏名、②勤務先・所属、③連絡先を明記し、北海道開発土木研究所材料研究室宛 Faxにて (Fax:011-837-8165) お申込み下さい。
 8. 問合せ先：北海道開発土木研究所材料研究室 (Tel:011-841-1719担当：嶋田)
 9. プログラム (都合により変更となる場合がございますので、予めご了承下さい。)
- 13:00-13:05 開会挨拶 北海道開発土木研究所理事長 齊藤智徳
- 13:05-14:25 基調講演「コンクリートの耐久性に関する最近の課題」
バウハウス大学 Prof. Jochen. Stark
- 14:25-15:05 講演①「環境顕微鏡を用いたコンクリートの微細組織に関する研究」
バウハウス大学 Dr. Bernd - Möeser
- 15:05-15:10 休憩
- 15:10-15:45 講演②「稚内港北堤防ドームの補強・補修」
北海道大学大学院工学研究科教授 佐伯 昇
- 15:45-16:20 講演③「コンクリートの凍害機構 (スターク著「コンクリートの耐久性」より)」日本データサービス技術顧問 太田利隆
- 16:20-16:55 講演④「北海道開発土木研究所における耐久性向上に関する最近の研究」
北海道開発土木研究所材料研究室長 田口史雄
- 16:55-17:00 閉会



基調講演および講演①は英語、講演②③④は日本語で行います。
英語の講演には逐次通訳を予定しております。